



SIRA NEWS 10 October

仙台国際センターだより



「Let's meet with a "SMILE"」
～せんだい地球フェスタ2014（特別企画より）～

公益財団法人 仙台国際交流協会

Sendai International Relations Association (SIRA/さいら)

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内
TEL 022-265-2211 FAX 022-265-2485 info@sira.or.jp

URL www.sira.or.jp

*SIRAは、仙台国際センターの管理・運営を行っています。



Information from SIRA

SIRA 事務所一部 移転のお知らせ

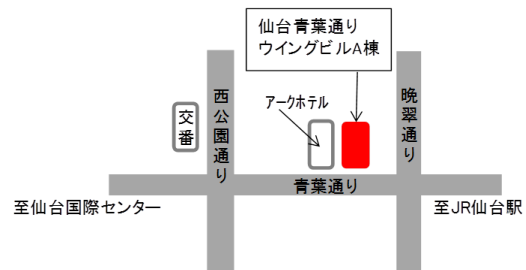
この度、（公財）仙台国際交流協会の総務企画部門は、次の通り移転することとなりました。移転先での業務開始は、10月1日からとなります。

移転先

〒980-0804

仙台市青葉区大町2丁目2-10 仙台青葉ウィングビルA棟11階
（アークホテル仙台青葉通り隣オフィスビル）

電話：022-265-2480（代表） FAX：022-261-0611



世界の料理

イギリス

★フル・イングリッシュ・ブレック

ファースト

品目は様々なパターンがありますが、伝統的なものは、トースト、卵料理、各種ソーセージ*、ハムにベーコン、グリルドトマト、マッシュルームソテー、ポテト料理、バイクドビーンズなどが1枚のお皿に乗ったもの。

★ショートブレッド

「ショート」は「油脂が入っていてサクサクしている」という意味。英国では「ショートケーキ」とも呼ぶ。もともとはスコットランドのお菓子。

★ブラック・プディング

名称から甘いデザートをイメージしますが、朝食の定番でもあるソーセージ*の一つ。豚の血や脂身、オートミールや小麦粉等を混ぜて作り、肉を使わないのが特徴的です。



10月・11月の仙台国際センター休館日

10月の休館日はありません。11月17日（月）から20日（木）

*11月24日（月）は、交流コーナー図書室の閉室日です。

EVENT INFORMATION

仙台市内・近郊で10～11月行われる国際イベントのご紹介です。

18
(土)

交流コーナーイベント 外国絵本のおはなし会

日本とフランスの絵本を日本語とフランス語でお話します。フランスの文化紹介や簡単な遊び、読み手との交流タイムも！

- ◆日時：10月18日（土）11：00
- ◆場所：仙台国際センター交流コーナー ◆参加費：無料
- ◆対象：子ども（3歳～小学校低学年くらい）とその保護者10組程度（※要申込）
- ◆主催・問合せ：SIRA TEL：022-265-2471
E-mail：info@sira.or.jp

19
(日)

第29回 東北大学国際祭り

東北大学の留学生が主体となり行う国際文化交流イベント

- ◆日時：10月19日（日）11：00～16：00頃まで
- ◆場所：仙台市三条中学校 校庭
- ◆対象：どなたでも（屋台は食券の購入が必要です）
- ◆主催：東北大学留学生協会（TUFSA）、@HOME
- ◆問合せ：tufsacontact@gmail.com
- ◆HP：http://www.tufsa.net/matsuri/

26
(日)

韓国料理教室「秋キムチを作ろう」

作ったキムチは1kg持ち帰ることができます★
おやつには、チヂミも！

- ◆日時：10月26日（日）17：00～20：00
- ◆場所：仙台国際センター研修室B
- ◆参加費：1000円 ◆対象：どなたでも（要申込）
- ◆申込締切：10月23日（木）まで
- ◆主催・問合せ・申込：仙台韓国料理チーム
TEL/FAX：022-251-5115

11月

1
(土)

三条町防災訓練

地域の人たちと一緒に防災について学びましょう。日本語が苦手でも通訳ボランティアがお手伝いします。ご家族やお友達と参加してください。

- ◆日時：11月1日（土）9：30～12：00
- ◆場所：仙台市立三条中学校
- ◆参加費：無料（事前申込不要です）
- ◆対象：仙台にお住まいの外国人の方
- ◆主催・問合せ：SIRA TEL：022-265-2480

15
(土)

平成26年度NPO法人アイカス公開研修

教材化する力を養う～教科書学習を離れて 第二回～
教科書を使わない日本語レッスンのあり方を講師の方と一緒に考えます。

- ◆日時：11月15日（土）13：00～15：00（受付12：30～）
- ◆場所：仙台国際センター 交流コーナー研修室
- ◆講師：遠藤藍子氏 [昭和女子大学元教授、日本語集中トレーニング（アルク）著者]
- ◆対象：SIRA日本語ボランティア、日本語ボランティアに興味のある方
- ◆参加費：アイカス会員300円／一般500円
- ◆主催：NPO法人国際都市仙台を支える市民の会（アイカス）、SIRA
- ◆申込方法：お名前とご連絡先を以下の研修担当まで。
- ◆問合せ・申込先：FAX：022-248-2286
E-mail：npo.icas@gmail.com
- ◆ブログ <http://npoicas.blog94.fc2.com/>

最終回

第9回 台南市青少年訪問団募集！ （高校生・高等専門学校生対象）

仙台市と交流促進協定都市である台湾・台南市より、東日本大震災の復興支援の一環として招待を受け、2012年2月より始まった台南市青少年訪問団。全9回派遣のうち、今回は最終回となる第9回の団員を募集します。震災で受けた支援に感謝するとともに、仙台の現状を伝え、将来、両市の架け橋になってくれる高校生を募集します。

- ◆期間：2015年3月22日（日）～3月29日（日）7泊8日
- ◆訪問地：台湾（台南市・近郊）
- ◆対象：市内に居住・通学している高校生または高等専門学校生（1～3学年）で、事前・事後研修（全4回）に参加できる方25人程度（選考有）
- ◆費用：3万円程度
- ◆申込：仙台国際センター、市内学校等で配布する募集要項（SIRA HPから取出可）で10月31日（金）必着
- ◆問合せ：SIRA
TEL：022-265-2480



今月のピックアップ

「笑顔でつながろう！異文化を楽しもう！」 せんだい地球フェスタ2014開催報告（8月3日）

「せんだい地球フェスタ」は、仙台国際センターを会場に、市民の国際交流、国際協力、多文化共生等の国際活動を紹介し、さまざまな出会いと学びの場を提供するイベントです。23回目となった今回は8月3日（日）に開催され、81の団体が参加するとともに、およそ4,300人の方々に来場いただきました。

今年のテーマは「笑顔でつながろう！異文化を楽しもう！」。



☞スマイルマークをつくりました！

10時からのオープニング・セレモニーでは、このテーマにちなんで、ボランティアや来場者のみなさんが風船を使って「スマイルマーク」をつくり、今年のフェスタが始まりました。

その後、在住外国人による日本語弁論大会、踊りなどのステージ・パフォーマンス、講演・映画上映、世界の料理が楽しめる「地球屋台村」など、バラエティに富んだイベントが繰り広げられました。

また、今年の特別企画として「ワールドカフェ」と「笑顔でつながろう」も行われました。「ワールドカフェ」は昨年的好评を受けて開かれたもので、来場した日本人市民と外国人市民がさまざまなトピックで気軽に話し合いました。また、「笑顔でつながろう」は、来場者や関係者のたくさんの笑顔の写真を集めて展示する企画で、今年のテーマのとおり、フェスタをきっかけにたくさんの方が笑顔でつながることが実感できました。

フェスタを締めくくるクローリング・セレモニーではここ数年恒例となっている抽



☞特別企画「ワールドカフェ」

選会が開かれました。「笑顔でつながろう」で撮影された写真を使って抽選が行われ、当選者にはフェスタで販売されていた各団体のフェアトレード商品や民芸品が賞品としてプレゼントされました。



今年のフェスタは7名の実行委員と14名のボランティア・リーダーが春から企画などの準備を

☞特別企画「笑顔でつながろう」

進め、当日は159名のボランティアが運営を支えました。企画・運営にご協力くださった実行委員・ボランティア、参加団体、協賛団体、ご来場のみなさまにあらためて感謝申し上げます。

報告 “日本語弁論大会” を開催しました！



8月のせんだい地球フェスタで「在住外国人による日本語弁論大会」を開催しました。日本語弁論大会は、外国人市民の日本語学習成果や意見を発表する場として、市民との相互理解を深めることを目的としています。今年度は7いさんちくつの国と地域から弁士が出場しました。優勝した李相穆さんは韓国出身で「日本の道徳精神」という題目で発表し、日本の良さを気付かせてくれるしっかりとしたスピーチでした。審査時間の間、東北大学の留学生によるすずめ踊りの発表や、来場者へのインタビューも行い、客席も満席となりました。弁士とご来場頂いた皆様、誠にありがとうございました。



☞弁士と審査員で

	い	さんちく		
優勝	李	相穆 (韓国)	『日本の道徳精神』	審査結果
準優勝	李	斌 (中国)	『故郷の繋がりに』	
優秀賞	姜	寅皓 (韓国)	『日本で感じた「お・も・て・な・し」の心』	
アイデア賞	トゴソ	(中国内モンゴル)	『春の思い出』	
ユーモア賞	グエン・ティ・ホン・タオ	(ベトナム)	『私の中の日本』	

市民のCHIKARA



地域でがんばる団体と市民をつなぐ“団体活動紹介コーナー”です。今回ご紹介する団体は、「TUFSA（東北大学留学生協会）」です。代表のポーニルグロッシ・チャーノンさん（タイ出身）にお話を伺いました。

TUFSA



Q：いつ、どのような目的で設立された団体ですか？

A：TUFSAは1965年11月に、東北大学で学ぶ留学生の有志によって仙台市民、日本人学生と留学生のよりよい関係を築くことを目指し、更に国際交流を推進することを目的に設立されました。

Q：団体名の由来はなんですか？

A：東北大学の留学生の団体ということで、東北大学留学生協会、英語ではTUFSA (Tohoku University Foreign Students Association)と呼ばれています。

Q：具体的な活動内容を教えてください

A：現在は、留学生や日本人学生のために毎月楽しいイベントやボランティア活動の機会を企画しています。その他にも留学生がより楽しい学生生活を送れるように、国際的な活動やアルバイトの情報を提供したりもしています。

Q：今後の活動について

A：私たちが活動を始めてから50年になります。その中でも今年29回目を迎える国際祭りが10月に行われます。今年度初めから準備を進めてきました。毎年3000人を超えるみなさんにお越しいただいており、たくさんの国の文化や食べ物を楽しむことができますとても楽しいお祭りです。



Q：読者の方々へメッセージをお願いします！

A：みなさん、今年の国際祭りもお見逃しなく！

※国際祭りの詳細はEvent Informationをご覧ください



WE
LOVE
SENDAI

このコーナーでは、仙台で国際活動をする市民が活動紹介や仙台の魅力を伝えます。

今回は、SIRAそして仙台市交流政策課でインターンをしているフランス出身のエマニュエル・モランさん！



皆さん、こんにちは！私はエマです。国立レンヌ第一大学大学院生として今年の4月から半年間、仙台市役所とSIRAでインターンをしています。

私の役割は仙台市の姉妹都市交流活動を支援することです。その一例として、5月に行われた仙台国際ハーフマラソンについての話をしたいと思います。

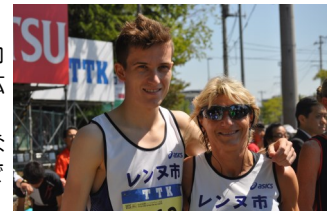
この大会は、「国際」と名前にあるとおり、日本人に加え、フランスのレンヌ市をはじめとする海外の姉妹都市・友好都市等からも選手団が参加しました。

姉妹都市・友好都市等の選手団は、仙台滞在中ハーフマラソンに参加するだけでなく、初めて接する日本の文化や料理などを五感で感じる事ができ、非常に喜んでいました。さらに、仙台市長を表敬したり、仙台国際ハーフマラソン大会国際姉妹都市等交流会では、各国際姉妹・友好都市などの選手と一緒にすずめ踊りに挑戦したりしました。ある選手は、NHKのインタビューに「完全な日本人のおもてなしを体験できました。」と話していました。

ハーフマラソン当日はかなり暑い日でしたが、市民からの「がんばれー！」という応援の言葉をたくさん聞くことができ、暑さを忘れることができたと言ったレンヌ市の選手のユークさんが言っていました。

仙台のハーフマラソンコースは、緑が多く、自然豊かで美しい社の都仙台の特徴をわかりやすく表していて、素晴らしいと思います。

仙台国際ハーフマラソンはプロの陸上選手から一般市民まで幅広い層の人々がたくさん参加する、日本での人気のある大会の一つなので、きっと仙台市民の誇りでしょうね！来年の仙台国際ハーフマラソンも楽しみです！



(今年の仙台国際ハーフマラソンに参加したレンヌ市の選手)